



令和 6 年度
幼稚園等新規採用教員研修
園外研修の手引



埼玉県教育委員会



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」

は じ め に

埼玉県立総合教育センター所長

新規採用教員の皆さんは、教師としての第一歩をいよいよ踏み出しました。教師の仕事の素晴らしさは、私たちの次代を担う人材を育てることにあります。子供たちのよさと可能性を花開かせるためには、教師の資質・能力の向上が欠かせません。教育の役割は、一人一人の能力を伸ばし、自立した人間を育てるとともに、国家や社会の形成者を育てることです。「教育は人なり」といわれるように、教師には、情熱をもって、不断の研究と修養に努め、自身の資質・能力を向上させるため、常に「学び続ける教師」となり、努力する姿勢が求められます。

新規採用教員研修は、教育公務員特例法附則第5条に基づいて県教育委員会が実施するものです。研修は所属園における所属園研修と当センター等で実施する園外研修から構成され、「埼玉県 校長及び教員としての資質向上に関する指標」に基づき、教師としての実践的な指導力と使命感を養うとともに、職務遂行に必要な事項について、幅広い知見を得ることを目的としています。この一年間の研修への取組は、新規採用教員の皆さんの5年先、10年先の教師としての生き方を左右するものです。研修の目的を十分に理解し、主体的に取り組んでいただきたいと思います。

この「園外研修の手引」は、新規採用教員研修に関する実施案内として、研修内容を示しており、所属園研修と園外研修での学びを関連付けることで、より充実した新規採用教員研修となるよう作成しております。新規採用教員の皆さんはもちろんのこと、園長、副園長、園内研修指導員の皆様も「教師となって第一歩」とともに本手引を活用してください。

最後に、県教育委員会では、埼玉県教職員MOTTO（モットー）「未来を創る、こどもたち。未来を育てる、わたしたち。～未来への責任～」を策定しています。このことばには日々の教育活動を通して得た感動や喜び、大切にしてきた誇りが表現されています。皆さんには、新規採用教員研修を通して、教師としての基礎を学び、子供たちの心に火を灯し続けるような、優れた指導力と使命感を兼ね備えた、幼児及び保護者をはじめとする県民の皆様から信頼される教師となれることを期待しています。



埼玉県マスコット「コバトン」

目 次

はじめに

幼稚園等新規採用教員研修実施要項	1
令和 6 年度幼稚園等新規採用教員研修園外研修実施要領(公立)	3
令和 6 年度年間研修計画 (園外研修・公立)	4
研修を受けるに当たって	6
欠席、遅刻、早退又は期日変更する場合の手続き	9
研修会 (欠席・遅刻・早退・期日変更) 届	10
課題研究の進め方	11
(様式 1) 課題研究計画書	12
(様式 2) 課題研究報告書	13
課題研究報告書について	14
アクセス&マップ	15
県立総合教育センター平面図	18
埼玉県 校長及び教員としての資質向上に関する指標	20

幼稚園等新規採用教員研修実施要項

埼 玉 県
埼玉県教育委員会

1 目 的

幼稚園等新規採用教員研修は、新規に採用された教諭及び保育教諭（以下「教諭等」という。）に対して、公立幼稚園及び公立幼保連携型認定こども園（以下「公立幼稚園等」という。）においては、教育公務員特例法附則第5条の規定に基づき、また、私立幼稚園、私立幼保連携型認定こども園及び私立幼稚園型認定こども園（以下「私立幼稚園等」という。）においては、教育職員養成審議会答申（昭和62年12月18日）の趣旨に沿い、幼稚園等の教育水準の維持向上を図るため、現職研修の一環として、その職務の遂行に必要な事項に関する一年間の研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させることを目的とする。

2 対 象

幼稚園等新規採用教員研修の対象は、次のとおりとする。

- (1) 採用の日から起算して1年に満たない公立幼稚園等の教諭等
- (2) 採用の日から起算して1年に満たない私立幼稚園等の教諭等
- (3) 保育所等からの異動により、新たに幼稚園等の教諭等となった者。ただし、次の者は対象から除外する。

ア 臨時的に任用された者

イ 教諭、助教諭又は講師（常時勤務の者に限る。）として国立、公立又は私立の学校（大学及び高等専門学校を除く。）及び保育所等において1年を超える期間を勤務したことがある者で、知事または県教育委員会が教諭等の職務の遂行に必要な事項についての知識又は経験の程度を勘案し、当該研修を実施する必要があると認める者

3 内 容

園外において、年間10日間程度の教育センター等による研修（以下「園外研修」という。）を受けるとともに、園内において、年間10日間の研修（以下「園内研修」という。）を受けるものとする。

4 運営協議会

- (1) 県教育委員会は、次の事項について協議を行うため、運営協議会を設置する。

ア 年間研修計画

イ その他実施上の諸問題

- (2) 運営協議会の設置要綱は別に定める。

5 年間研修計画

- (1) 知事及び県教育委員会は、市町村長及び市町村教育委員会と連携・協力の上、年間研修計画を作成する。
- (2) 年間研修計画においては、本要項第3項に定める事項のほか、園外研修に関すること、園内研修に関すること及びその他必要な事項を定めるものとする。

ただし、私立幼稚園等における年間研修計画については、全埼玉私立幼稚園連合会が知事及び県教育委員会と連携・協力の上、作成するものとする。

6 その他

園外研修及び園内研修の実施方法等については、別に定める。

本要項に定める事項は、令和5年4月1日から施行する。

令和6年度幼稚園等新規採用教員研修

園外研修実施要領（公立）

幼稚園等新規採用教員研修実施要項の6に基づき、公立幼稚園及び公立幼保連携型認定こども園（以下「公立幼稚園等」という。）における園外研修の実施に係る必要事項を定める。

1 目 的

- (1) 教職に関する基礎・基本や原理・原則に重点を置き、教育者としての使命感、幼児に対する教育的愛情、教育内容等に関する専門的知識など、豊かな人間性と深い専門性を育てる。
- (2) 各種施設における研究協議等の研修を通して、幅広い知識・技能を身に付け、実践的指導力を高める。

2 対 象

幼稚園等新規採用教員研修実施要項の2(1)及び(3)に定める者。

3 研修期間

原則として、採用された日から一年間。

ただし、年度途中の採用については、任命権者との協議により研修期間を決定する。

4 研修内容

教育センター等研修（10日）

ア 公・私立幼稚園等合同研修（1日）

イ 公立幼稚園等全体研修（9日：保育参観等・施設見学・自然観察等を含む）

5 講師及び指導助言者

- (1) 大学教授等
- (2) 幼稚園等の園長、副園長、教頭及び教諭等
- (3) 教育委員会関係職員

6 日程、会場等

年間研修計画（園外研修・公立）のとおり。

7 その他

その他、実施に関する事項は、「令和6年度幼稚園等新規採用教員研修 園外研修の手引」による。

令和6年度 年間研修計画（園外研修・公立）

回	期日・会場	時刻	研修内容	指標
1	4月3日（水） 非集合型	9:30～10:00 10:00～10:10 10:10～11:00 11:00～12:00 13:00～13:50 14:10～16:00 16:00～16:10 16:10～16:30	受付 開講式 オリエンテーションⅠ 講義「幼稚園教員としての心構え -サービスとマナーを中心として-」 講義「人権教育の現状と課題」 講義「幼稚園教育の基本と指導の特質」 諸連絡 オリエンテーションⅡ	★ ★ ★ A1
2	4月25日（木） 非集合型	9:00～ 9:15 9:15～ 9:20 9:20～10:40 10:50～12:00 13:00～15:40 15:45～16:15 16:15～16:30	受付 諸連絡 講義「幼稚園教育の基本と教師の役割」 協議「幼児理解と援助」 講義・協議「環境の構成と立案について」 「保育の展開とその評価」 講義「課題研究計画について」 諸連絡	A1,B1,C1 A1,B1,C1 ★
3	5月29日（水） 県立 総合教育センター	9:00～ 9:15 9:15～ 9:20 9:20～10:20 10:30～11:30 11:40～12:10 13:10～16:10 16:10～16:30	受付 諸連絡 講義・演習「情報の取扱い・ICTの効果的な活用」 講義「教員のためのメンタルヘルス」 課題研究計画発表 講義・演習「幼児期の運動遊びの指導」 諸連絡	★, A1,E1 ★ ★ A1,B1,C1
4	7月26日（金） 県立 総合教育センター	9:00～ 9:15 9:15～11:10 11:20～12:30 13:30～16:10 16:10～16:30	受付・諸連絡 講義「教育課程の役割と編成」 協議「指導計画の作成と一日の保育展開」 講義・演習「絵本選びと読み聞かせの基本と実際」 講義・演習「幼児の豊かな感性と表現」 諸連絡	A1,B1,C1 〃 A1,B1,C1 A1,B1,C1
5	8月2日（金） 非集合型	9:00～ 9:15 9:15～ 9:20 9:20～10:10 10:20～11:10 11:20～12:00 13:00～13:50 14:00～16:00 16:00～16:30	受付 諸連絡 講義「幼児虐待の現状と対応」 講義・協議「家庭との連携と保護者への対応」 協議「幼稚園の教師となって」 講義「外国籍の幼児への支援」 講義・協議「幼児期における音楽的感性の発達と表現」 諸連絡	C1,D1 A1,C1,D1 ★ A1,B1,C1 B1,C1

回	期日・会場	時 刻	研 修 内 容	指 標
6	8月23日(金) 長瀬げんきプラザ	9:30～ 9:45 9:45～10:30 10:30～11:00 11:00～12:30 13:30～15:40 15:50～16:15 16:15～16:30	受付・諸連絡 講義「遊びの中の自然観察」 着替え・演習準備 演習 同 上 講義・演習「幼児の安全に配慮した指導」 協議「1学期を振り返って・2学期に向けて」 諸連絡	A1,B1,C1 A1, B1 ★
7	9月13日(金) 埼玉県 こども動物 自然公園	9:00～ 9:15 9:15～ 9:20 9:20～ 9:30 9:30～10:00 10:10～12:00 13:00～16:00 16:00～16:30	受付 諸連絡 開会行事 講義「こども動物自然公園の概要」 講義・演習「小動物の飼育管理と取扱い」 講義・演習「動物園を利用した園外保育のプラン作り」 閉会行事	A1,B1 A1,D1 A1,B1,C1
8	10月22日(火) 県立上尾 特別支援学校	9:00～ 9:15 9:15～ 9:20 9:20～ 9:30 9:30～10:10 10:20～14:30 14:40～16:00 16:00～16:30	受付 諸連絡 開会行事 講義「特別支援学校の概要」 授業参観（昼食含む） 講義「障害のある幼児の理解と支援」 閉会行事	D1
9	11月上旬予定 公立幼稚園	9:00～ 9:15 9:15～ 9:25 9:25～ 9:45 9:50～14:10 14:25～14:45 14:50～16:00 16:00～16:10 16:10～16:30	受付・諸連絡 開会行事 講義「幼稚園の概要」 保育参観（昼食含む） 講義「幼児理解と環境構成」 協議「本日の保育と立案について」 閉会行事 諸連絡	A1,B1 C1,D1
10	1月16日(木) 県立 総合教育センター	9:00～ 9:15 9:15～ 9:20 9:20～10:30 10:45～12:00 13:00～14:30 14:45～16:00 16:10～16:30	受付 諸連絡 講義「子供の成長と教師の喜び」 研究発表「課題研究発表会Ⅰ」 研究発表「課題研究発表会Ⅱ」 講義「幼稚園と小学校の連携」 閉講式	A1,C1 A1,B1,C1 A1

埼玉県 校長及び教員としての資質向上に関する指標

- ★ 埼玉県の教員として持ち続けてほしい素養
- A 学校運営
- B 学習指導
- C 生徒指導
- D 特別な配慮や支援を必要とする生徒等への対応
- E ICTや情報・教育データの利活用

研修を受けるに当たって

1 研修の心得

- (1) 研修には、主体的、積極的に参加する。
- (2) 研修時刻に遅れないように余裕をもって参加する。
- (3) 受付で出席について確認する。
- (4) 服装は、研修にふさわしいものを着用する。
- (5) 研修に参加するに当たっては、保育、学級、分掌等に支障のないようにしておく。
- (6) 研修後は、必ず園長に復命を行う。

2 諸注意

- (1) 研修中は、名札を常に着用する。名札は、研修教員相互の交流、親睦と事務連絡の円滑化を図るためのものである。また、部外者と区別し、当センターを利用する県民の安全を確保するため着用する。名札は、各自で用意する。(詳細はP. 8)
- (2) 研修室内外の整理整頓(机・椅子を原状に復するなど)に留意し、研修の作業で出たごみは、分別し所定の場所に捨てる。弁当等のごみは、持ち帰る。
- (3) 電話の取り次ぎは、原則として行わない。緊急の場合の電話は、遠慮なく担当者に申し出る。携帯電話は、研修中はマナーモードに設定し使用しない。
- (4) 学校等を研修会場とする日には、昼食、上履きを持参する。
- (5) 気分や具合が悪くなったときは、遠慮なく担当者に申し出る。
- (6) 研修会場へのアクセスは、公共交通機関を利用する。
- (7) 台風等に伴う研修会中止等の決定については、研修会前日の午後1時(研修日の前日が休日等の場合は直前の課業日)を目安として、総合教育センターのホームページおよび研修情報サイトに掲載する。
- (8) 非集合型研修では、オンライン等で研修を行うので、事前にコンピュータ及び通信環境等を確認する。なお、管理職は、研修対象者に対して、研修場所と時間を確保する。

3 欠席等の場合

幼稚園等新規採用教員研修は、必ず出席しなければならない法定研修である。

病気等、やむを得ない理由で欠席する場合は、総合教育センターと事前協議を行い、P. 9の「欠席、遅刻、早退又は期日変更する場合の手続き」を参照すること。

4 携行品・提出物

- ◇幼稚園等新規採用教員研修園外研修の手引
 - ◇筆記用具
 - ◇名札
 - ◇「幼稚園教育要領解説」又は「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」
 - ◇「令和6年度教師となって第一歩」
 - ◇研修資料
- ※情報サイトからダウンロードし、電子データまたは印刷して持参する。

以上については、毎回持参すること。

【提出物】必ず管理職の指導を受けてから電子データで提出すること。締切期限厳守

締切日	提出場所	提出物 ※備考
4月22日(月)	サ情報 イト	週案・日案等 (自演の様式又は提出日までに作成したもの)
5月上旬	アサ イト 内	ICT活用に関するアンケート ※詳細は情報サイトを確認する。
5月22日(水)	情 報 サ イ ト	課題研究計画書【P.12の様式1】
7月11日(木)		① 6月の第4週あるいは第5週の週案 ② ①の週の日案(1日分) ③ ①、②の反省及び保育記録 ※指導者へ事前送付するため、提出日を厳守する。
6月上旬		外国籍の幼児に関するアンケート ※詳細は情報サイトを確認する。
7月中旬	情 報 サ イ ト 内 ア ン ケ ー ト	絵本を選んだ理由についてのアンケート ※詳細は情報サイトを確認する。
8月下旬		飼育動物についてのアンケート ※詳細は情報サイトを確認する。
12月25日(水)	情 報 サ イ ト	課題研究報告書【P.13の様式2】
1月14日(火)		課題研究発表用プレゼンデータ(パワーポイント等で作成)

【持ち物】 変更や追加があり得るので、諸連絡や研修サイトの指示を確認すること。

研修日	研修場所	提出物・持ち物 ※備考
5月29日(水)	総合教育 センター	活動しやすい服、靴(体育館シューズ)
7月26日(金)		①「埼玉県幼稚園教育課程編成要領(平成31年3月発行)」 ②「埼玉県幼稚園教育課程指導・評価資料(平成31年3月発行)」 ③ 選んだ絵本
8月23日(金)	長瀬げん きプラザ	① 活動しやすい服・運動靴・帽子・タオル ② 昼食・飲み物・自転車保険料等 ③ 日焼け止め・虫よけスプレーなど必要なもの ④ 所属園の園庭の配置図
9月13日(金)	埼玉県こども 動物自然公園	① 帽子・タオル ② 昼食・飲み物 ③ 日焼け止め・虫よけスプレーなど必要なもの ※ 活動しやすい服・運動靴で来る。
10月22日(火)	上尾特別 支援学校	① 上履き・下足を入れる袋 ② 昼食・飲み物 ③ 筆記用具・クリップボード 等
11月上旬予定	公立幼稚園	① 上履き・下足を入れる袋 ② 昼食・飲み物 ③ 筆記用具・クリップボード 等
1月16日(木)	総合教育 センター	課題研究発表で提示するもの、資料等

5 データ提出先について

幼稚園等新規採用教員研修サイト中のキャビネット

※個人IDとパスワードでログインします。個人IDとパスワードについては5月上旬までにお知らせします。データの提出方法は、第1回研修会で案内します。

6 ファイル名について

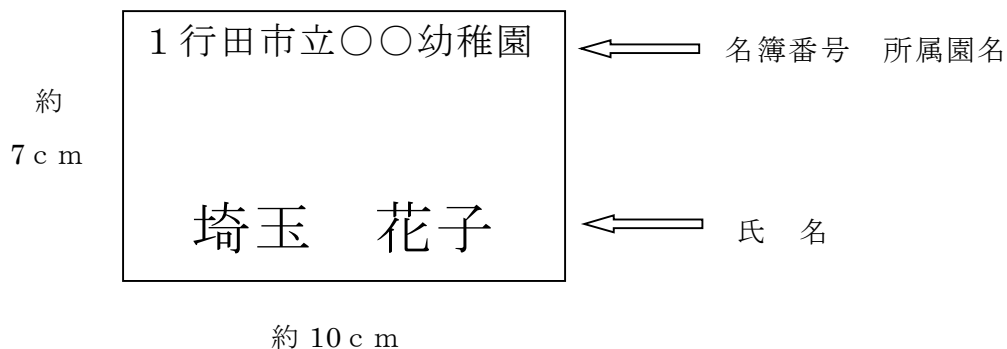
データを提出するときは、ファイル名を以下のように変えてください。

「名簿番号(2桁半角英数) 所属園名 氏名」

例 「01 行田市立〇〇幼稚園 埼玉花子」

■ 名札の作成について

名札は、下記の規格で準備してください。首からぶら下げるタイプを使用してください。



埼玉県マスコット コバトン

■ 欠席、遅刻、早退又は期日変更する場合の手続き

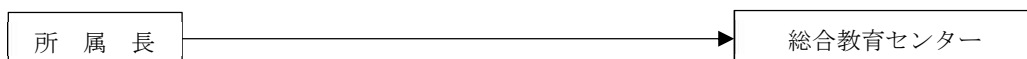
研修会は、全日程の出席を原則とします。

やむを得ない理由で欠席、遅刻、早退又は期日変更（以下「欠席等」という。）する場合は、**所属長が事前に連絡**し、以下のように「研修会（欠席・遅刻・早退・期日変更）届」を**電子メール**に添付して送付してください。なお、公印は不要です。

※ 法定研修（初任者研修、中堅教諭等資質向上研修）、ジャンプ・アップ研修、一部の特定研修を欠席等する場合、総合教育センターと**事前の協議**が必要です。

【欠席等届の送付先】

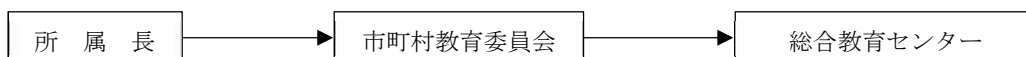
- 県立学校、国立筑波大学附属坂戸高等学校、埼玉大学附属幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校の教職員



- 市町村立学校等（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・義務教育学校・特別支援学校）の教職員

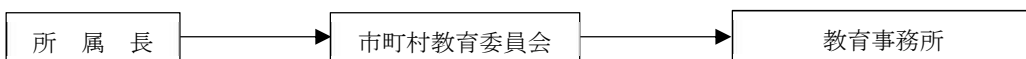
（１）年次経験者研修・管理職研修・特定研修

※ ５年経験者研修のうち教育事務所が実施するもの（２）を除く



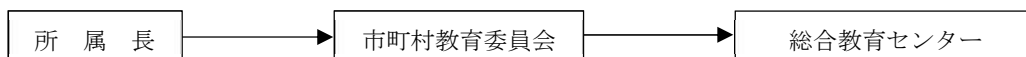
（２）５年経験者研修のうち教育事務所が実施するもの

小・中学校５年経験者研修（共通コース及び中学校の教科選択コースを除く）は、「地区教職員研修実施運営委員長」宛てに、市町村教育委員会に提出してください。

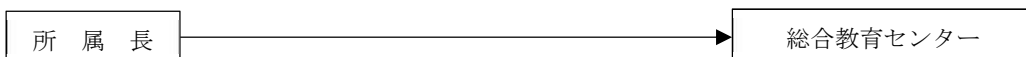


（３）市町村教育委員会と共同で実施する研修

※ 生徒指導・教育相談中級研修会



（４）専門研修



■ 台風等緊急事態における研修会中止等の連絡

研修会中止等の連絡は、前日（研修日の前日が週休日等の場合は直前の稼業日）の午後１時を目安として、[総合教育センターホームページ](#)に掲載します。

なお、その後の扱いについては、後日担当から連絡します。

■ 研修会(欠席・遅刻・早退・期日変更)届

様式は、[総合教育センターのホームページ](#)から入手してください。

令和 年 月 日

(宛先)
県立総合教育センター所長
【 担当扱 】

学校(園)名
校(園)長名 (公印省略)
電 話 番 号

研修会(欠席・遅刻・早退・期日変更^{*1})届

本校 (職名) (氏名) [(整理番号又は受講者ID)^{*2}] は、下記のとおり研修会を(欠席・遅刻・早退・期日変更)しますので、お届けします。

記

研修会名	研修会名 (コース・教科等 ^{*3} :)
研 修 日	令和 年 月 日 () 第 日
理 由 等	
	変更後 令和 年 月 日 () 第 日

- * 1 欠席・遅刻・早退・期日変更の箇所は該当するものを残す。また、期日変更の場合、「理由等」の欄に変更後の期日を併せて記入する。
- * 2 整理番号又は受講者IDがある場合に記入する。
- * 3 コース・教科等がある場合は () 内に記入する。
- ※ 電子メールについて、件名及びファイル名は次のとおりとする。
件 名 「〇〇研修会〇〇届〇〇学校」
ファイル名 「R〇.〇.〇(研修日)【〇〇届】〇〇立〇〇学校」
- ※ 年次研修及び一部の特定研修を欠席等する場合は、県立総合教育センターと**事前の協議**を要する。

課題研究の進め方

1 ねらい

日々の保育実践の中から研究課題を設定し、調査、研究を行うことによって、研究の仕方の基礎を学ぶとともに、自ら主体的に研究に取り組み、自己の伸長を図る。

2 課題研究を進める際の手順

時期	内容	時期	内容
4月	課題の発見、幼児の実態把握	6～12月	保育実践と研究
4・5月	課題の設定、研究計画の作成		研究の修正・報告書の作成
5/22(水)	課題研究計画書(電子)の提出	12/25(水)	課題研究報告書(電子)の提出
5/29(水)	課題研究計画の発表	1/14(火)	プレゼン用データ(電子)の提出
		1/16(木)	課題研究発表会

3 研究課題の設定

「教師の役割」「環境構成」「幼児理解」の中から、各自が本年度の保育実践を通して取り組める研究課題を設定する。

なお、研究課題の設定については、所属園の園長等の指導、助言を受けて決定する。

例	ア	教師の役割	友達関係を広げるための教師の役割とはどのようなものか。
	イ	環境構成	幼児がいきいきと遊ぶ、魅力的な砂場とはどのような環境か。
	ウ	幼児理解	幼児の思いを明日の保育に生かすための記録の取り方とは。

4 課題研究計画書(P.12 様式1)の提出

様式1に従い作成し、電子データを令和6年5月22日(水)までに研修サイトに提出する。なお、1部を保管用とし所属園の園長に提出する。

※A4横書き1ページ程度

5 課題研究報告書(P.13～P.14 様式2)の提出

様式2を参考にして作成し、令和6年12月25日(水)までに研修サイトに提出する。なお、1部を保管用とし所属園等の園長に提出する。

※A4横書き4ページ(両面2枚)程度

6 課題研究発表プレゼン用データの提出

写真等で分かりやすく作成し、令和7年1月14日(火)までに研修サイトに提出する。

※写真及び個人情報の取扱いに留意すること

7 ファイル名について

「01 行田市立〇〇幼稚園 埼玉花子」に変更して、情報サイトに提出する。

8 研究を進める上での留意点

- (1) 研究課題の決定や研究計画の立案は、できるだけ早めに行い、研究が計画に沿って進むように努める。
- (2) 研究を進めるに当たっては、研修期間内に、適宜、園長及び指導教員の指導・助言を受けながら主体的に行う。

令和6年度 幼稚園等新規採用教員研修
課題研究計画書

所属園名

氏 名

1 研究課題

--

2 研究課題カテゴリー（該当する記号を○で囲んでください。）

ア 教師の役割 イ 環境構成 ウ 幼児理解

3 研究対象

〇年保育〇歳児 合計〇〇名（男児〇名 女児〇名）

4 課題設定の理由

※ 学級の実態を踏まえ、課題を設定すること。

5 仮説と手立て

(1) 仮説

①

②

・仮説①に対して、手立て①のように、仮説と手立てが正対するように記載する。

(2) 手立て

①

②

6 研究計画

月	研 究 計 画

令和 6 年度 幼稚園等新規採用教員研修
課 題 研 究 報 告 書

所属園名
氏 名

※余白として上下左右 15. mm 以上

1 研究課題

--

2 研究課題カテゴリー（該当する記号を○で囲んでください。）

ア 教師の役割 イ 環境構成 ウ 幼児理解

3 研究対象

○年保育○歳児 合計○○名（男児○名 女児○名）

4 課題設定の理由

※ 学級の実態を踏まえ、課題を設定すること。

5 仮説と手立て

6 研究の計画及び経過（※計画書に実践を追加し、経過が分かるよう記入する）

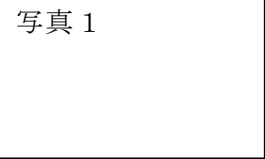
月	研 究 の 計 画 及 び 経 過

※課題研究計画書と
同内容

7 実践事例（5月～12月まで）

（1）事例① ○月○日「○○○○ってなあに」

ア 実践



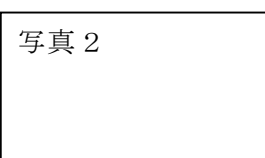
イ 考察

（ア）成果

（イ）課題

（2）事例② □月□日「砂場での温泉づくり」

ア 実践



イ 考察

（ア）成果

（イ）課題

PDFにして提出ください。

8 課題研究のまとめ

※ 柱立てをし、分かりやすくまとめる。

※ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、幼児の姿を読み取る。

課題研究報告書について

（1） A4縦置き横書き4ページ程度

（2） 発表時に配布資料等が必要な場合は、別途作成し持参する。（受講者数+4部）

■ アクセス & マップ

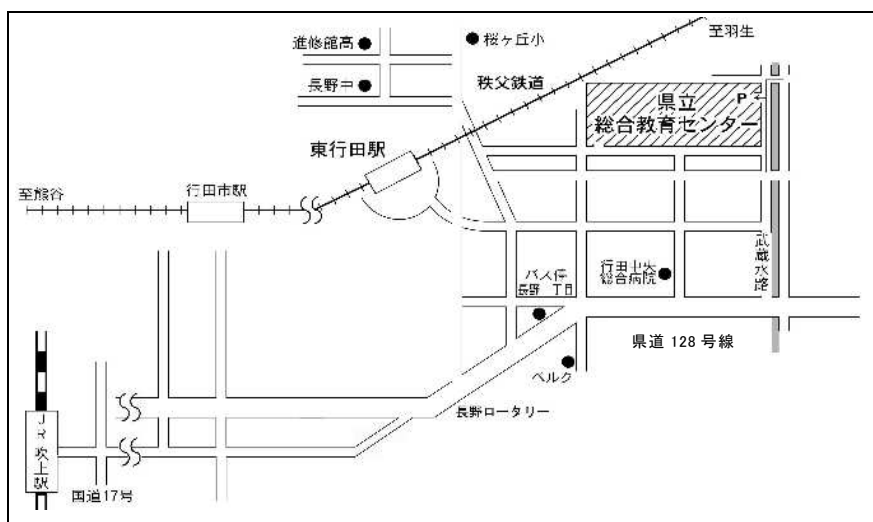
総合教育センター（行田本所） 〒361-0021 行田市富士見町 2-24

■ 秩父鉄道 東行田駅 徒歩約10分

■ JR高崎線 吹上駅（北口）

「総合教育センター」行 約23分 【終点】下車

「行田折返し場」「工業団地」行 約22分 【長野1丁目】下車 徒歩4分



総合教育センター江南支所 〒360-0113 熊谷市御正新田 1355-1

■ JR高崎線・秩父鉄道 熊谷駅（北口）

「県立循環器・呼吸器病センター」行 約20分

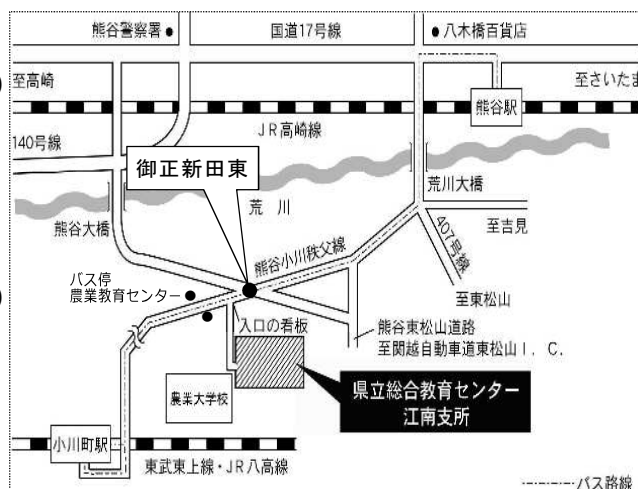
「小川町駅」行 約20分

【農業教育センター】下車（徒歩8分）

■ 東武東上線・JR八高線 小川町駅

「熊谷駅」行 約35分

【農業教育センター】下車（徒歩8分）



※ 研修受講者は、交通事故の未然防止及び近隣住民への配慮のため、公共交通機関を利用し、やむを得ない事情がある場合を除き、自家用車で来所は御遠慮ください。

※ 各市の条例により路上喫煙は禁止されています。なお、灰皿が設置されている店舗等においても同様となります。

2 県立長瀬げんきプラザ

〒369-1312 埼玉県秩父郡長瀬町大字井戸 3 6 7

TEL 0494-66-0177

HP <https://www.nagatoro-genki.com/>

○電車での来所

秩父線 野上駅 下車 徒歩 10 分

★ J R 高崎線を使用する場合

熊谷駅で秩父線に乗り換え 約 45 分

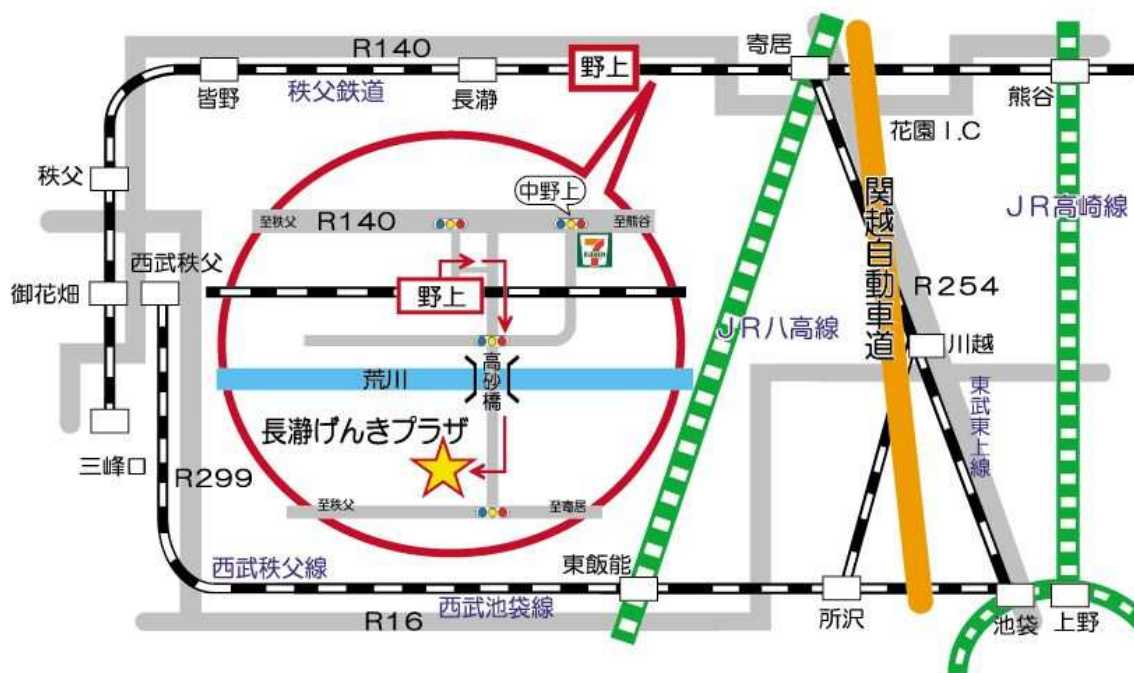
★ J R 八高線・東武東上線を使用する場合

寄居駅で秩父線に乗り換え 約 15 分

★ 西武秩父線を使用する場合

西武秩父駅 下車（乗り換え徒歩 3 分）

秩父線 御花畑駅より約 31 分



※交通案内については、<http://www.nagatoro-genki.com/access/> をご覧ください。

3 埼玉県こども動物自然公園

〒355-0065 埼玉県東松山市岩殿554

TEL 0493-35-1234

HP <http://www.parks.or.jp/sczoo/information/index.html>

○東武東上線 高坂駅 徒歩約30分

○東武東上線 高坂駅（西口）2番乗り場 川越観光バス

「鳩山ニュータウン行き」「こども動物自然公園前」下車（0.2km約3分）



4 県立上尾特別支援学校

〒362-0031

埼玉県上尾市東町3丁目2009-3

TEL 048(774)9331

HP <https://ageo-sh.spec.ed.jp/>

○JR 高崎線 上尾駅下車 徒歩約25分

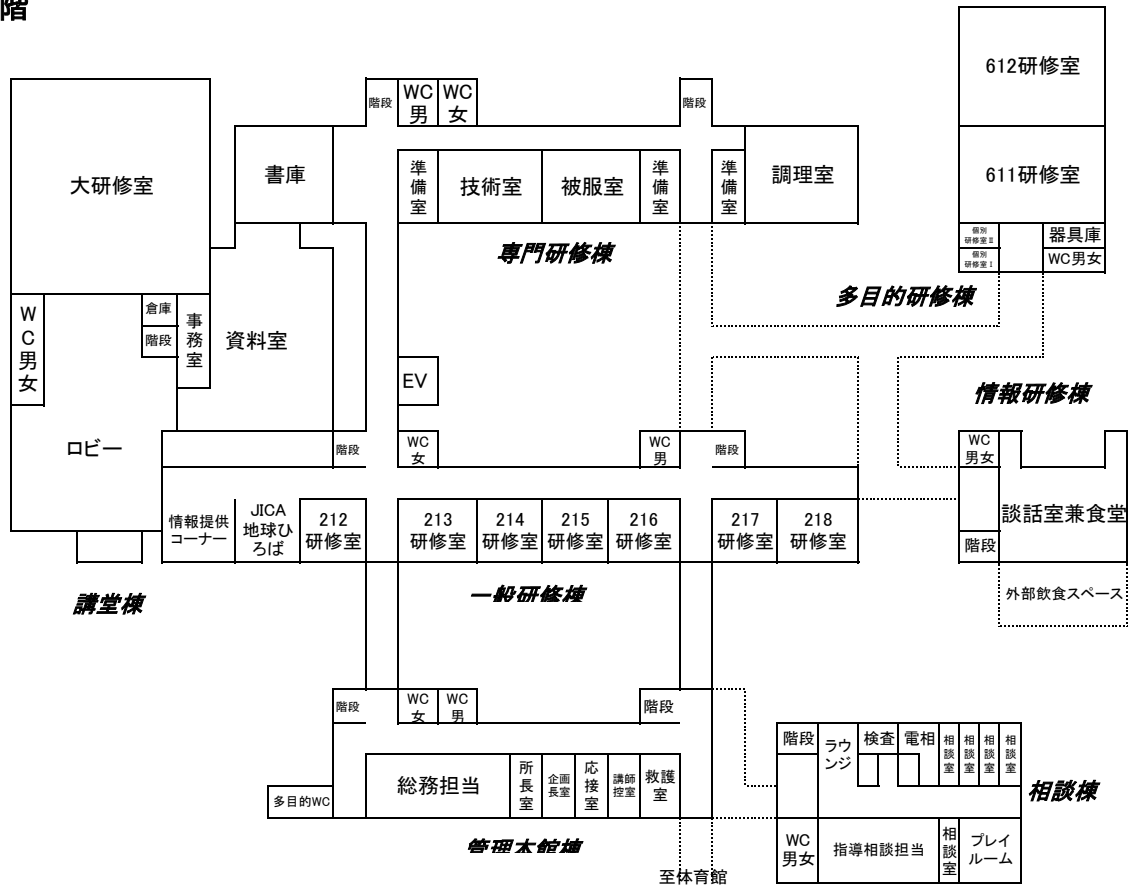
○朝日自動車バス<がんセンター行き>上尾市文化センター下車 徒歩5分



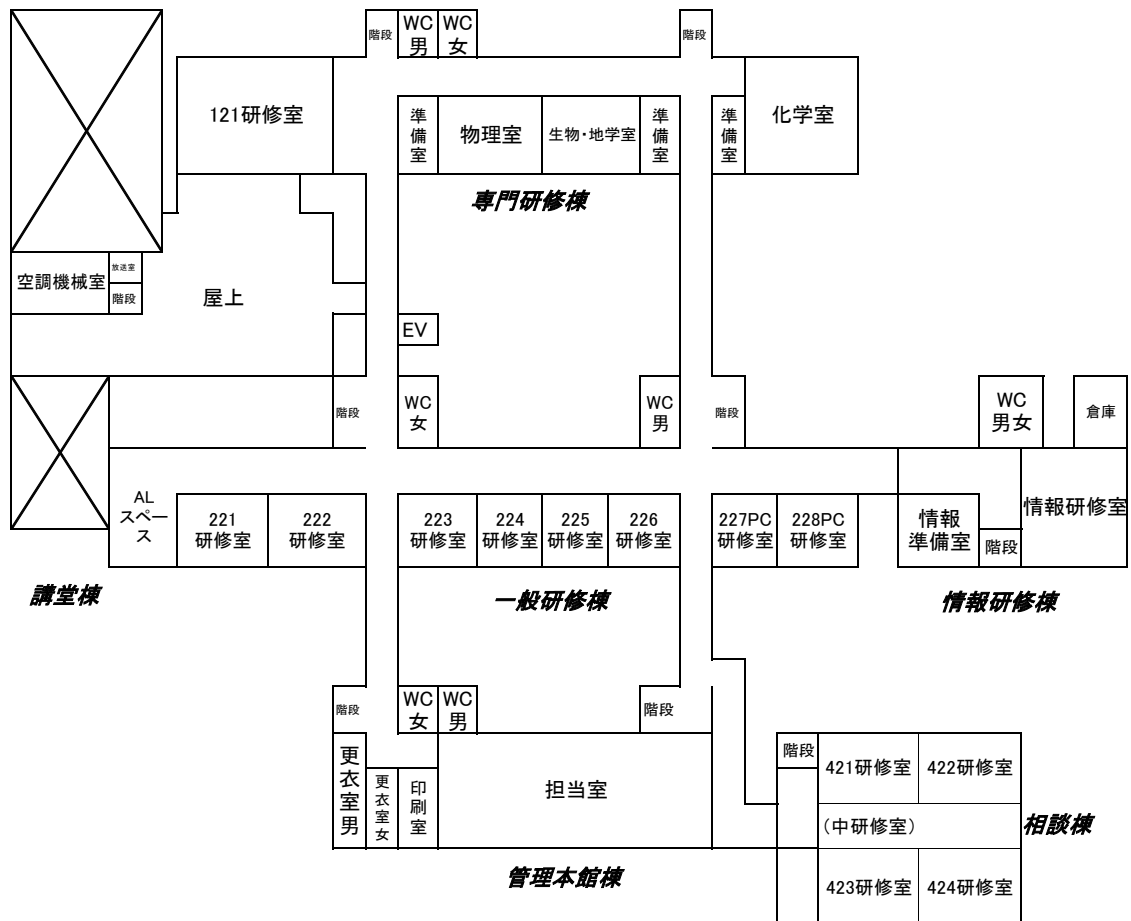
埼玉県マスコット 「コバトン」

総合教育センター平面図

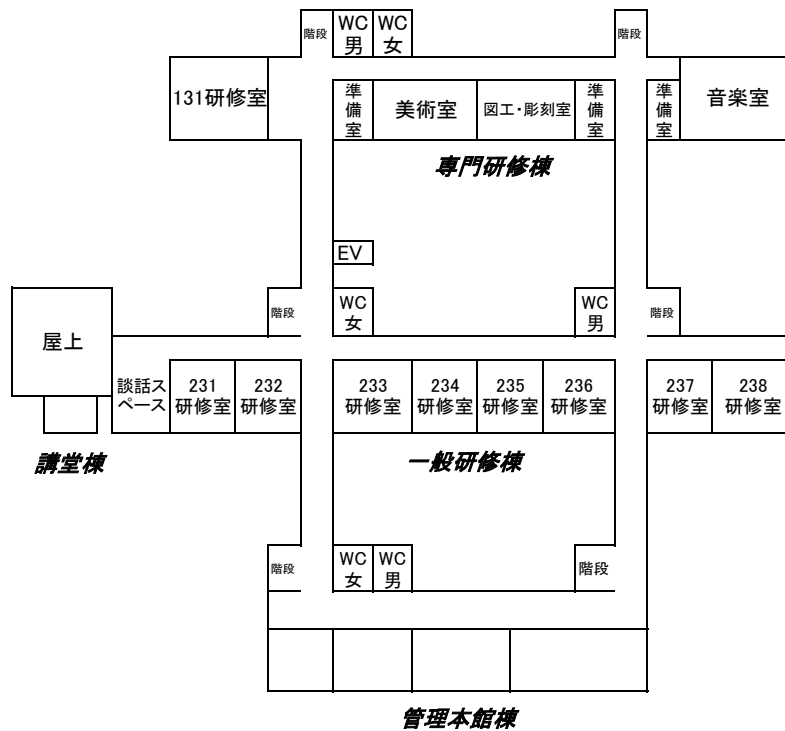
1 階



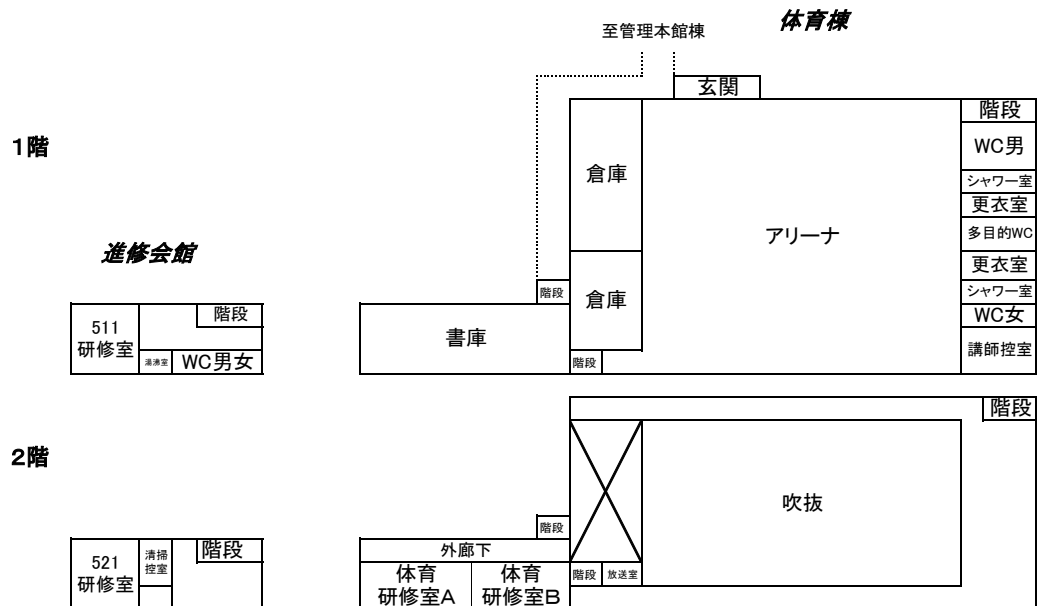
2 階



3 階



体育棟及び進修会館



教諭	採用前	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	第4ステージ	校長（管理職）																																																																																																																																																																																																																																																																				
記号	キャリアステージ	養成期	基盤形成・協力期	充実・推進期	深化・中核期	発展・後進育成期																																																																																																																																																																																																																																																																				
		教員に求められる基本的な知識を学ぶとともに、自ら課題を発見して解決する姿勢を身に付ける。	教員として必要な基本的事項について幅広く学び、管理職や他の教職員から学びながら、基盤となる力を身に付ける。	自身の経験を基に、学習指導や生徒指導等の専門性をさらに高め、チームの一員として実践的指導力を高める。	校務分掌等において、学校の中核的存在としての自覚を持ち、チームとしての学校への貢献度を高める。	これまでの教育実践を振り返り、自らの知識や技能を発展させ後進を育成し、多面的・多角的な視野を持ち、組織的な学校運営を推進する。																																																																																																																																																																																																																																																																				
★	埼玉県の校長及び教員として持ち帰ってほしい素養	● 常に自己研鑽に努め、主体的・自律的に学ぶ ● 教育公務員としての使命を自覚し、高い倫理観と児童生徒への教育的愛情を持つ ● 豊かな人間性、コミュニケーション力、人権意識、幅広い教養や視野をもち、家庭や地域など誰とでも協働する																																																																																																																																																																																																																																																																								
A	学運	【学校組織マネジメント】 本県の教育振興基本計画等や国の答申等を踏まえた教育、学校及び教職の意義や社会的役割・サービスの理解するとともに、国内外の変化に合わせて常に学び続ける姿勢がある。 学校組織の一員として、他者と協働して教育活動に取り組むために必要な社会的スキルを身に付ける。	【学校安全】 マニユアルを踏まえて危険を予測し、事故発生時には適切に行動する。	【外部連携】 学校の強み、弱みを理解し、家庭・地域等との連携を組織的観点から検討するとともに、効果的な教育資源を見つけて連携する。	【外部連携】 学校の強み、弱みを理解し、家庭・地域等との連携を組織的観点から検討するとともに、効果的な教育資源を見つけて連携する。	【学校組織マネジメント】 学校組織マネジメントの意義を理解した上で、各学校運営の課題を踏まえながら、他の教職員に対して積極的に支援・助言を行い、学校の課題を主体的に解決しようとする。	【学校安全】 危機管理の知識や視点を備え、経験に基づく豊富な知識を持ち、安心で安全な教育活動を学校組織全体で計画的に実践する。	【外部連携】 学校間の連携について幅広い視点で企画・実践することができ、家庭・地域等の持つ教育力を活用する等、外部との連携を深める。	【指導計画、カリキュラム・マネジメント】 カリキュラム・マネジメントの意義を理解し、経験や実践及び専門的な知識を基に、教職員が共通理解できるよう指導・助言を行う。	【主体的・対話的で深い学びの実現】 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた実践を行い、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実により、日々学習者中心の授業を創造し、効果的な指導方法を校内外に広める。	【学習評価・授業改善】 指導と評価の一体化の実践を踏まえ、評価規程や評価方法等について組織の中心となって研究を深めるとともに、他の教職員の授業を積極的に参観し、研究協議等で課題の明確化や分析により授業改善を推進する。	【学級経営】 学級内で望ましい人間関係を育むことで互いに支え合い、それぞれの可能性や活躍の場を引き出す学級経営を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動に対しての背景や原因も考慮しながら、他の教職員と共通理解を図り、連携して適切に指導・支援する。	【キャリア教育】 キャリア教育や進路指導の知識を生かし、学校の教育活動全体を通して、生徒等が自分らしい生き方を実践するための力を育成する。	【多様なニーズへの対応】 特別な配慮や支援が必要とする生徒等の課題を把握し、学年等において機能的な組織づくりを行い、生徒等の自立を支える校内体制づくりを行い、外部機関との連携を適切に行う。	【ICT活用】 教科指導、学級指導、校務分掌等の教育活動において、ICTの利便性を活用し、ICT機器を活用する。	【学級経営】 学級経営の意義や生徒等の心身の発達過程や特徴を理解し、生徒等一人一人の個性や発達の段階に合わせた指導を行う。	【教育相談】 生徒等の理解に努めながら、教育相談の基本的な技法を習得し、生徒等との信頼関係を築く。	【生徒等の問題行動への対応】 生徒等の状況把握、様々な問題行動

キャリアステージに応じた資質向上を目指して

各年次研修では、みなさんが将来の目指すべき姿やその実現のために身に付けたい能力・経験等を整理し、主体的にキャリアプランを考える機会となります。

これは、皆さんが研修を受講するに当たって研修前や研修後の自分の位置（ステージ）を確認するためのシートです。見通しをもって研修に取り組み、自身の資質を向上させてください。研修の開始前に以下の１・２を記入し、終了後に１・３を記入してください。

１ 「埼玉県 校長及び教員としての資質向上に関する指標」項目ごとの自己評価

※★は「◎・○・△」を記入、Ａ～Ｅは自分の位置するステージの数字を記入

記号 大項目	小項目 ※各項目の具体的な内容は 「埼玉県 校長及び教員としての資質向上に関する指標」参照	研修前	研修後
		()月	()月
★	埼玉県の校長及び教員として持ち続けてほしい素養		
Ａ 学校運営	学校組織マネジメント		
	学校安全		
	外部連携		
Ｂ 学習指導	指導計画・カリキュラムマネジメント		
	「主体的・対話的で深い学び」の実現		
	学習評価・授業改善		
Ｃ 生徒指導	学級経営		
	教育相談		
	生徒等の問題行動への対応		
	キャリア教育		
Ｄ 特別な配慮を必要とする生徒等への対応	多様なニーズへの対応		
Ｅ ＩＣＴや情報・教育データの利活用	ＩＣＴ活用		

２ 研修開始時点の現在地

これまでに重視してきた項目の記号		
------------------	--	--

特に力を入れたい項目の記号		
---------------	--	--

３ 研修終了時の現在地

身に付いたと思う項目の記号		
---------------	--	--

今後力を入れたい項目の記号		
---------------	--	--



未来を創る、こどもたち。

未来を育てる、わたしたち。

～ 未来への責任～



埼玉県立総合教育センター
Saitama Prefectural Education Center

〒361-0021 埼玉県行田市富士見町2-24 TEL 048-556-6164
<https://www.center.spec.ed.jp/>